

平成29年度 入学式

本日は、本校第44回入学式を挙げるにあたり、ご列席の来賓のみなさまに、本校の教職員を代表し心から御礼申し上げます。先ほど入学を許可した新入生のみなさんに対して、入学を心から祝福いたしますとともに、本校の生徒として心から歓迎いたします。また、ご列席の保護者のみなさまにも、これまでの養育のご心労をねぎらい申し上げますとともに、併せてお子さまの本校ご入学をお祝い申し上げます。

新入生のみなさん、高校受検の日々はどうでしたか。昨年の学校説明会に始まり、1月末の願書提出、2月に入っの学力検査と面接、そして2月28日の合格発表と何度も藤沢西高校に足を運んでいただきました。長い受検の期間中はきっと不安な気持ちでいっぱいだったことでしょう。みなさんよく頑張りましたね。受検というものは、本人の努力はもちろんですが、ご家族の深い理解と協力が不可欠です。お父さん、お母さん方も本当にご苦労様でした。

さて、本校への入学にあたり、今日は私から新入生のみなさんに求めることが1つあります。それは、自らの行動を決める際に、これからは高校生として『したいことよりすべきこと』を考えて欲しいということです。つまり、気分や感情のおもむくままに行動するのではなく、今自分は何をすべきなのか或いは何をすべきでないのかをよく考え

て行動しなさいということです。

法律が改正され、昨年の選挙から18歳の誕生日を迎えた高校3年生も、私たち大人と一緒に投票することになりました。これは、国や県、市町村の代表である議員を選ぶという重い責任が生じるということです。これからは、若いみなさんの政治への関わりがますます大切な時代になっていきます。自分の身近なことだけでなく、日本や世界で起こっている出来事や情勢の変化にも関心を持ってください。

誠に僭越ながら、保護者の皆さまにもお願いします。子供に何を許すか許さないか、何を買ってやるかやらないかという結論だけでなく、お父さんやお母さん方ご自身がどんなことを大切に考えているのかを是非お子さんにお話ししてください。15才で高校に入学し、卒業するときは18才でもう大人の仲間入りです。みなさんが豊かな価値観や人生観を育み、3年後に立派な大人となって藤沢西高校を巣立っていくことを祈念して、私の式辞といたします。